

学習指導案の形式（例） 中学校国語科

第〇学年〇組 国語科 学習指導案

平成〇年〇月〇日（〇）第〇校時 〇〇教室 指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 〇〇〇〇〇〇〇〇～〇〇〇〇〇〇～（教材名、作者・筆名、出版社名）

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。名称の工夫として、「単元名」には当該単元に位置付ける言語活動を、「副題」には取り上げる指導事項を、書くことなどが考えられる

2 単元の目標

- 「国語への関心・意欲・態度」に関する目標
(例：～しようとする。)
- 3領域に関する目標
(例：～ことができる。)
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関する目標
(例：～ことができる。)

◇学習指導要領で示された目標及び内容（指導事項）を踏まえて設定する。

◇ねらいを明確にするために一単元では、育成すべき「国語への関心・意欲・態度」・3領域である「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の五つの観点の全てを位置付ける必要はない。「関心・意欲・態度」「3領域のうちから一つ」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の三つの観点到絞ることが望ましい。

◇生徒の立場で書く。

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	〇〇能力	言語についての知識・理解・技能
例：～しようとしている。	例：～している。（ ）	例：～している。

◇「2 単元の目標」を踏まえ、見出しのように単元の評価の観点を設定する。

◇〇〇能力の（ ）には指導事項のカタカナを書く。

◇評価規準の設定に当たっては、『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 国語】』（平成23年11月 国立教育政策研究所）等を参考にして、当該単元に位置付ける言語活動と取り上げる指導事項に応じて、適切に設定することが望ましい。

4 指導と評価の計画（全〇時間）

次	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	◇主な学習活動を書く。	○例：～している。 など 〔評価の観点〕（評価方法）
	2		◇評価規準を、「単元の評価規準」と一致させて書く。 ◇評価の観点を書く。 ◇評価方法の具体を書く。 ◇評価時期を考え、バランスよく計画を立てる。 ◇生徒の立場で書く。
二		○例：～を音読する。 ～を書く。 ～について話し合う。 など	
三		◇生徒の立場で簡潔に書く。	

5 指導上の立場

- 単元観
- 生徒観
- 指導観

◇単元観…本単元で指導する言語能力（指導事項）及び、位置付ける言語活動とその特徴を書く。また、本単元を取り上げる意義、単元・教材と生徒の関係などを書く。

◇生徒観…本単元に関連する興味・関心・意欲、言語能力の定着度、取り組んできた言語活動等について書く。本単元における望ましい生徒像などについても書く。

◇指導観…指導・支援の力点、学習形態、仮説、その他の配慮事項など、生徒の良さや可能性を生かすような工夫や手だてなどを書く。

○研究主題との関連

○全国・県学力調査との関連

◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書く。研究主題と授業研究における指導仮説との関連などを書く。
 ◇全国・県学力調査との関連…現状と課題、課題についての取組を書く。

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

例：～しようとする。
～することができる。

◇「2単元の目標」や「3単元の評価規準」との整合を図る。
 ◇本時の評価規準との整合を図る。
 ◇生徒の立場で書く。

(2) 展開

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
<p>◇生徒の立場で書く。</p> <p>1</p> <p>◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。</p> <p>2</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p> <p>例： ～を書く。 ～について話し合う。</p> <p>◇導入・展開・終末の学習過程に沿って生徒の学習活動を具体的に書く。 ◇岡山型学習指導のスタンダードの1単位時間の授業5（ファイブ）を参考にする。</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>◇学習活動に対して主となる指導・支援を書く。</p> <p>◇指導者の立場で書く。</p> <p>めあて</p> <p>◇生徒の目的意識のまとめや活動目標など、本時のめあてを書く。 ◇本時で何をどのように学ぶかの見通しがもてるようにする。</p> <p>○例：～することで、～できるようにする。</p> <p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される生徒の反応 ・生徒一人一人の学習進度に応じた手だて ・生徒が主体的に、学習を進めるための手だて ・資料提示の機会や方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させる。</p> <p>○例：～を一緒に確認し、～をつかませる。</p> <p>◇「努力を要する」状況（C）と判断される場合における生徒への手だての例も書く。</p> <p>まとめ</p> <p>◇本時で何を学んだのかが分かるように整理し、めあと対応したまとめの文章表現例を示す。 ◇まとめは、本時の目標や学習内容に応じて、柔軟に位置付ける。</p>	<p>◇生徒の立場で書く。</p> <p>◇本時の目標との整合を図る。 評価の場面は1、2か所。 ◇本時の目標と整合した評価規準を具体的に書く。 ◇評価の観点を書く。 ◇評価の方法を具体的に書く。</p> <p>○例：～している。 [評価の観点] (評価の方法)</p> <p>◇評価の方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 など

◎「おおむね満足できる」状況（B）と判断する生徒の姿の例

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう生徒の姿を具体的に書く。